

CHEERFUL AND POWERFUL

岩手地区中学校総合体育大会

岩手地区内の19校に通う
中学生たちが集い、
日ごろ鍛えた力を競う
地区中学校総合体育大会。
市内の中学生も
多数の競技で活躍しました。

声援を力に換えて
その瞬間、誰もが
ヒーロー、ヒロインに



↑選手に懸命の声援を送る生徒たち
 →練習の成果を出す西根バスケットボール部
 ↓松尾ソフトボール部は3連覇達成です



↑吹奏楽部も応援を盛り上げます
 →西根サッカー部は実力を見せて圧勝
 ↓西根第一は、テニス団体で男女ともに優勝



第57回岩手地区中学校総合体育大会は6月20から22までの3日間、各会場で行われました。市内中学校5校から10競技に出場。松尾ソフトボール部が3年連続の地区大会制覇を達成するなど、選手たちの活躍が光りました。

それぞれの競技で3位以内に入賞した団体、個人は次のとおりです。(敬称略)

- バスケットボール ▽男子
- ①西根▽女子③西根第一
- サッカー ▽男子①西根

- 軟式野球 ▽男子③西根、松尾
- バレーボール ▽女子②西根
- ソフトテニス ◆男子▽団体①西根第一③安代▽個人②菅原未裕・松浦露輝(西根第一)③川野創平・羽沢亮祐(安代)◆女子▽団体①西根第一③松尾▽個人①工藤つくし・小笠原奈々(西根第一)③小野都・工藤麻愛(西根)、高橋舞優・高橋美月(松尾)
- バドミントン ◆女子▽団体③安代

- ソフトボール ▽女子①松尾③西根
- 柔道 ◆男子▽男子個人60キ級②遠藤貴哉(西根第一)▽男子個人66キ級②吉川広大(西根第一)◆女子▽団体②西根第一▽女子個人44キ級①高橋裕佳(西根第一)▽女子個人48キ級②伊藤弘華(西根第一)▽女子個人52キ級①中村有沙(西根第一)▽女子個人70キ超級②遠藤真那美(西根第一)



アスリート
 たちの
 熱戦と記憶

●西根病院の収支計画(収益的収支)

	H20(見込み)	H21(計画)	H22(計画)	H23(計画)
収入	7億636万円	7億3822万円	7億4315万円	7億4840万円
支出	7億427万円	7億3601万円	7億4019万円	7億4542万円
経常損益	209万円	221万円	296万円	298万円
累積欠損金	0円	0円	0円	0円

地域医療を守る 西根病院改革プラン

八幡平市国民健康保険西根病院は、昭和31年12月15日に旧西根村の直営診療施設として開設されたのが始まりで、地域住民の健康を保持・増進するため、医療サービスを提供してきました。

地域医療を取り巻く環境は、国の医療費抑制政策や少子高

齢化、医療技術の進歩などによる患者数の減少、医師不足など、大変厳しい状況にあります。西根病院も、こうした環境のもとでも持続可能な病院経営を進め、引き続き地域医療を担う役割を果たしていくため、八幡平市国民健康保険西根病院改革プランを策定しました。

経営効率化で 黒字の経営を目指す

西根病院のこれまでの収支と今後の計画は、上の表に掲げたとおりです。20年度決算(見込み)まで収入が支出を上回り、累積の赤字のない健全な経営を行ってきました。独立採算を基本とする公営企業会計に基づいて運営している西根病院は、健全経営が基本です。21年度以降も黒字経営になるよう、さまざまな取り組みを行ってまいります。専門外来などの患者数を増やすことや、延長外来診療の導入の検討、業務の外部委託などさらに経営の効率化を進めます。

医師確保のため さまざまな取り組み

全国的に医師不足が叫ばれる中、病院経営において医師

国保西根病院改革プラン

心の通う医療の提供と 安定経営を両立

地域医療の一翼を担う西根病院のあり方について、健全経営との両立の観点から改革プランを取りまとめました。

確保は最も重要な問題の一つです。西根病院においても、常勤医師は4人で医師不足が常態化。関係医療機関などからの応援医師派遣に頼らざるを得ない体制です。

こうした医師不足解消のため、応援医師を継続して派遣されるよう、関係医療機関へ



の要請を継続。また、合併以前から修学資金を貸し付けて養成した医師が4人いることから、勤務の義務履行を求めるなど医師確保活動を進めます。

病院相互の連携で 最適な医療の提供を

医師確保以外の面においても、関係医療機関との連携は大変重要な課題です。

盛岡医療圏において二次救急、高度・専門医療などを担う中核病院には、県立中央病院と岩手医大附属病院、盛岡赤十字病院が位置付けられて

供します。

良質な医療を 健全経営で実現する

市は、この改革プランに基づき、これまでと変わらない良質な医療を市民の皆さんに継続して提供できる体制構築に取り組みます。安定的かつ自律的な経営を続けるため、改革プランの実施状況について点検・評価を行いながら、今後も心の通う医療の提供を目指します。

西根病院改革プランについて詳しくは、西根病院(☎761-3111)まで。

います。四大疾病(がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病)などでは、こうした医療機関と連携する体制を構築しながら、最適な医療サービスを提供します。

また、地域病院として、医療連携体制においては病気の予防、維持期を中心とする日常的な医療機能のほか、急性心筋梗塞の回復期、糖尿病の専門的治療の医療機能を提供

団体4連覇を達成

平館高校相撲部が県大会で大活躍

県高等学校総合体育大会相撲競技は6月6日、県営武道館相撲場で行われ、地元、県立平館高校が4年連続32回目の団体優勝を果たしました。

また個人でも、個人戦決勝リーグ、100キ以上級で里館健さん(2年)が、80キ以上

100キ未満級で駒林雄也さん(2年)が、1年生リーグで藤川梓之介さんが見事優勝を果たしました。

東北大会を目前に控え、越田正信監督は「昨年の東北新人大会を上回る成績を目指す」と意気込みを語りました。



県大会で圧倒的な強さを見せた平館高校相撲部の皆さん。前列左から小野寺慧斗さん、遠藤直文さん、里館健さん、後列左から駒林雄也さん、藤川梓之介さん、高橋蓮さん、越田正信監督

岩手地区桐友会



発足10周年記念誌を発刊

犯罪や非行に陥った人の更生を支援する保護司の退任者で組織する岩手地区桐友会では、発足10周年を迎え、記念誌「桐友会のあゆみ」を発刊しました。

この記念誌は、A4版22ページに会の歴史や過去の会員、活動の様子の写真などをまとめています。

詳しくは、記念誌編集委員・柚吉造(☎0195-62-4335)まで。

広報はちまんたいへの掲載広告を募集しています

広報はちまんたい6月4日号の紙上でお知らせしたとおり、紙面への広告掲載を始めます。

未定となっていた本号(毎月第1木曜日発行)の広告取扱業者と、お知らせ号(毎月第3木曜日発行)の広告掲載料は次のとおりです。

■本号広告取扱業者

株式会社東広社(盛岡市肴町4番20号、☎019-623-5411)

※本号への広告掲載の申し込みは、取扱業者が受け付けます。料金は、取扱業者に問い合わせください。

■お知らせ号の広告掲載料(市内の業者・団体のみ)

1枠(縦43ミリ×横85ミリ)=14,175円(税込み)

※お知らせ号については、各自で印刷用データを用意し、直接市に申し込んでください。

実際の広告サイズは下図のとおりです。詳しくは、企画総務部総務課広報統計係(☎・内線1219)まで。

広告

43ミリ × 85ミリ

広告

みのり ひかり
—農と輝の大地—

八幡平市
Hachimantai City